

2020年1月24日

日本ボッチャ協会クラス分けシステムについて

一般社団法人日本ボッチャ協会クラス分け委員会

国内のクラス分けシステム整備のため、以降、日本選手権大会出場選手のクラス分けについて、以下のように実施します。

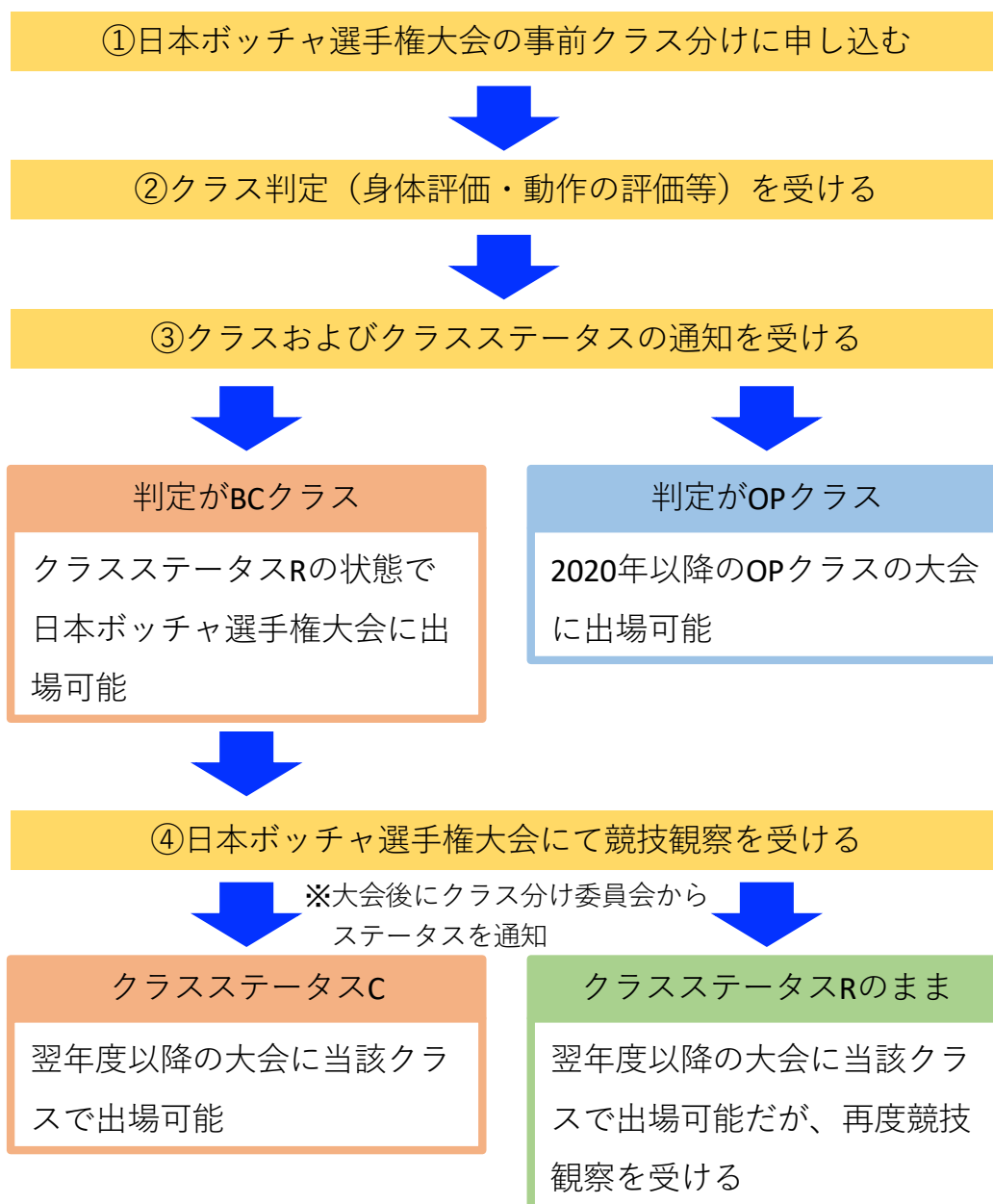
- BISFed クラス分けシステムに則り、各選手のクラスステータスとして「R (Review : 要観察)」「C (Confirm : 確定)」を設ける。
- BISFed クラス分け規則の改定 (BISFed BOCCIA CLASSIFICATION RULES 4th Edition October 2018) に伴い、これまでにクラス判定を受けた選手についても、クラスステータス R として、再度クラス判定 (競技観察) を実施する。
- 競技観察実施によりクラス確定をした選手については、クラスステータス C の通知を、再判定の必要性がある選手についてはクラスステータス R の通知を、クラス分け委員会で協議をした後に個別に行う。
- クラスステータス R の通知を受けた選手は、クラス分け委員会の指定する期間に再判定を受けなければならない。
- クラスステータス C の通知を受けた選手においても、クラス分け委員会が必要と認めた場合、身体評価を再度実施することがある。
- クラスの再判定については、個別検査または競技観察、もしくは両方を実施するものとする。競技観察のみで評価をする場合は、当該選手が参加する日本選手権大会 (予選会・本大会) において、いずれかの試合により行うものとする。
- 競技大会期間中においてクラスの変更が通知された場合、当該大会でクラス変更通知を受けた以降の競技については参加することができない (次回以降の大会に変更後のクラスで予選会から出場することは可能)。
- 強化指定選手または育成指定選手等の資格を有する選手が、再判定により BC クラスではないと判定された場合、その資格を喪失する。

以上

* 具体的なクラス分けの流れについては、次頁以降を参照してください。

国内クラス判定の流れ

1) 初めて日本選手権大会に参加する選手



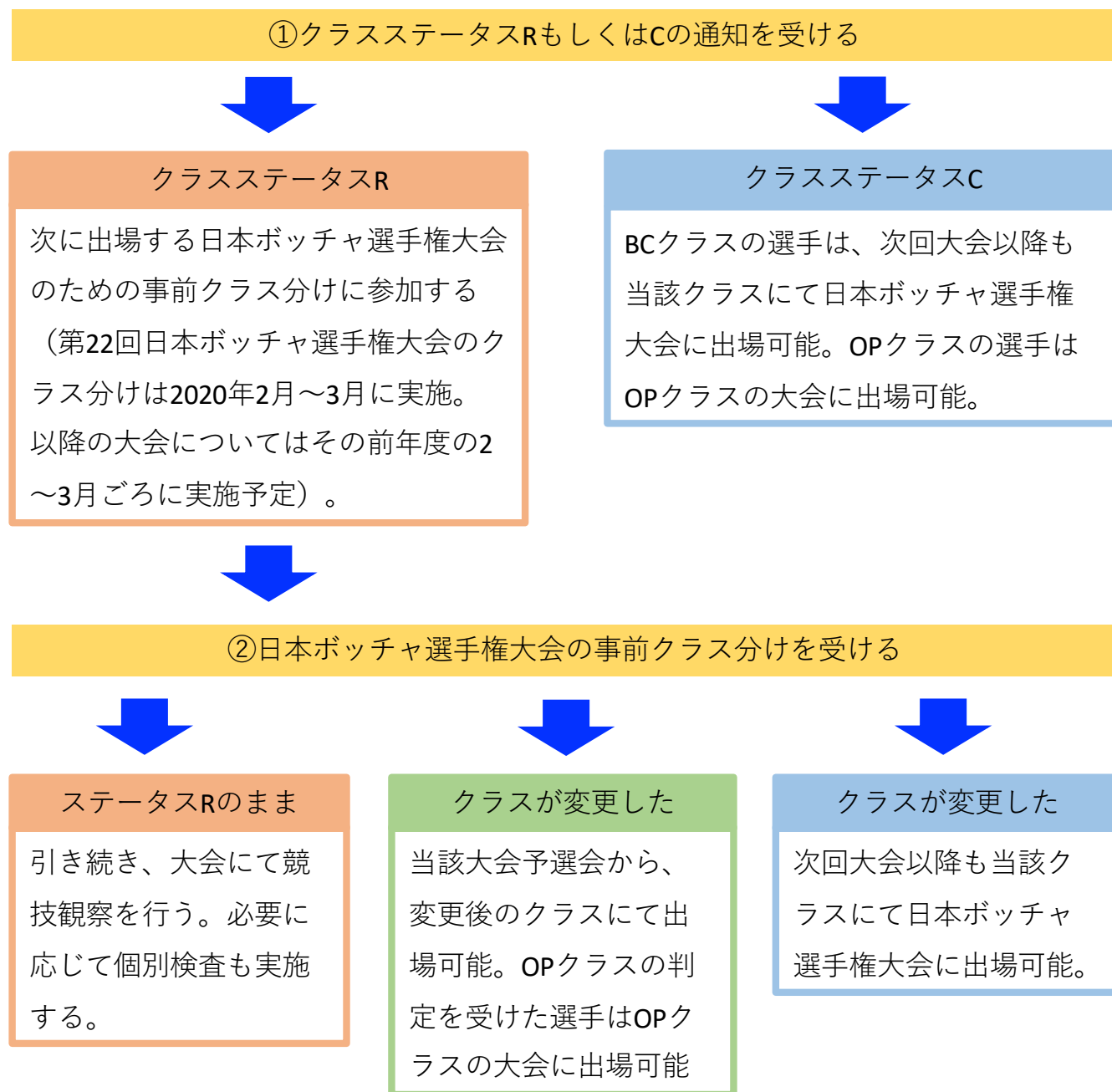
※クラス分けを受けた直近の日本ボッチャ選手権大会に参加しなかった選手は、次の大会に参加する際に再度①からクラス分けを受けること

例) 第22回日本ボッチャ選手権大会前のクラス分けを受けたが、その大会に出場しなかった

→ 第23回大会以降、出場する大会の事前クラス分けを受ける

国内クラス判定の流れ

2) 第21回日本ボッチャ選手権大会本大会（2019年12月開催；愛知県豊田市）に出場した選手



※クラスステータスCの選手においても、クラス分け委員会が必要と認めた場合には再判定を行う場合があります。

※上位成績選手で強化指定選手選考に関わる選手については、当該選手に別途連絡し、強化指定選手選考会等にて再判定を行います。

国内クラス判定の流れ

- 3) 1) と 2) に該当しない選手（第21回日本ボッチャ選手権大会本大会に出場しておらず、予選会以前の大会に出場経験のある選手）

- * 全選手がクラスステータスRの状態とさせていただきます。
- * 直近で参加する大会において競技観察を実施いたします。
- * その後のクラス分けの流れは、前頁 2) に該当する選手と同じです。
- * クラス分け委員会が必要と認めた場合、個別検査を実施することがありますが、その場合は当該選手に個別に通知します。

プロテスト（抗議）について

クラス分け判定においてもプロテストシステムを導入いたします。プロテストの流れについては、申し出のあった選手に個別に案内するとともに、後日、協会webサイト内に国内クラス分け規則と共に掲載いたします。